

令和6年度 北海道札幌月寒高等学校「全日制」 学校評価票（学校関係者）

この学校評価は、関係法令に基づいて実施するもので、職員による「自己評価」の結果を集計し、さらに学校評議員、PTA役員等による「学校関係者評価」を経て、月高ホームページ等を通じその結果を広く公表するものです。

【評価基準】「A」：そう思う 「B」：だいたいそう思う 「C」：あまり思えない 「D」：思えない

領域	番号	評価の項目	平均	
Ⅰ 学習指導	1	卒業後の進路に求められる資質・能力を着実に育成できる教育課程を編成・実施している。	3.8	4.6
	2	指導と評価の一体化の視点から、観点別評価を適切に実施し、指導方法の工夫・改善に生かすことができている。	4.4	
	3	教科横断的視点から、総合的な探究の時間を中心に探究的な学びの充実が図られている。	5.0	
	4	生徒による授業評価の実施・分析を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」に係るアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善が図られている。	4.8	
	5	個別最適な学びと協働的な学びの実践、及びそれらを支える一人一台端末の活用が図られている。	5.0	
Ⅱ 生活指導	6	自主自立の校風の中で自己管理を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、主体性を身に付けさせている。	4.8	4.9
	7	親和・協力の精神で社会性や豊かな人間性を育むことができている。	5.0	
	8	お互いに人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える人間関係の形成を通じて、いじめ撲滅を図っている。	5.0	
Ⅲ 進路指導	9	一人ひとりの確かな自己実現を図るため、充実した進路情報を適時に提供している。	5.0	4.9
	10	進路指導体制の充実に取り組み、様々な制度（推薦・総合型選抜・一般選抜等）を活用し生徒や保護者の期待に応える進路希望が実現している。	4.8	
	11	3年間を見通した系統的で継続的な進路指導を行い、進路意識を高揚できている。	4.8	
Ⅳ 健康安全指導	12	心身ともに健康な生徒を育成するため、健康・安全意識を高める啓発活動を行うとともに、事故の未然防止に努めている。	5.0	4.3
	13	教育相談や生徒理解の取組を充実させ、不登校等の早期発見と組織的な支援を行っている。	4.6	
	14	安全・防災の視点から教育環境の維持向上を図るため、施設設備の日常的な点検整備を行い、改善している。	3.4	
Ⅴ 運営	15	経営方針や教育目標を明示し、各種反省会議や学校評価を適切に行い課題を明確にすることで、教育活動の改善・充実を図っている。	5.0	4.7
	16	分掌・学年及び職員間の連携を図り、校内研修会等を効果的に活用し協働して課題解決に取り組んでいる。	4.4	
Ⅵ 連携	17	地域や後援会・PTA等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営に努めている。	4.8	4.1
	18	地域への情報発信や学年・学級からの情報発信の充実など地域に関かれた学校作りが図られている。	3.4	
Ⅶ 他	19	公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針（時間外の上限を「付き45時間内、年360時間内とする」）を遵守できている。	3.0	3.0

※ A：5点、B：4点、C：2点、D：1点として換算して行います。